



さやだより

平成 29 年 8 月号 ヒアリ情報を追加しました!

今月は「夏の虫刺されにご注意!」

◆虫刺されに注意が必要な虫は??

夏は虫たちが活発になる季節。この時期に「虫刺され被害」が増える虫は以下のものがあります。



今回は中でも特に被害が多い「ハチ」についてピックアップします!

◆虫刺されはどういった症状がでるの??(ハチ)

ハチに刺されると、体にとっては異物であるハチの毒を排除しようという反応が起こります。これは、毒から体を守り、傷ついたところを元に戻すための免疫の働きによるものです。

その過程でできる一連の反応を炎症と言います。炎症は4つの特徴的な症状を伴います。

特徴	症状	原因
発赤	赤くなる	血管の拡張や血流の増加。
熱感	熱をもつ	血管の拡張や血流の増加。
疼痛	痛い かゆい	白血球やリンパ球から痛みやかゆみのもととなる物質(ヒスタミンなど)が放出される。PHの変化。
腫脹	腫れる	炎症にかかわる白血球などが血管から血管外に染み出してくる

※ハチの種類や個人の体質によっても症状の程度は大きく異なります。スズメバチやアシナガバチは要注意です。

※数日後に症状が出ることもありますので刺された後は体調の変化に十分注意しましょう!

※免疫反応が暴走した状態をアレルギーと呼びます。ハチに刺されて症状がひどいと、**じんましん、めまい、呼吸困難、血圧低下**などの症状を引き起こし死に至る場合があります。これをアナフィラキシーショックと言います。

この説明は2ページ目にありますのでご覧下さい。

◆ハチに刺されときの対処は??

- ① とげ抜きなどで針を抜く。毒袋を壊さないよう注意する。
- ② 患部を石鹸と流水で洗い流す。
- ③ 消毒薬で殺菌し抗ヒスタミン軟膏(かゆみ止め)を塗る。

④患部を冷やす。

⑤症状が強い時はすみやかに病院へ。



※毒を口で吸い出すといくら口をゆすいでも口の中に毒が残ってしまう危険性があります。

※アンモニア水や尿の効果は疑問視されています。

※掻きこわすと細菌感染して症状が悪化することがあります。

◆虫刺され予防(ハチ)

- ①服装 黒い服装を避ける。(黒色を攻撃するため)帽子を被り、髪を隠す。白色や銀色は攻撃されにくい。
- ②臭い 臭いは、ハチを刺激し、攻撃性を増す。ヘアスプレー、ヘアトニック、香水はなるべく付けない。体臭や汗臭さにも反応。
- ③車の中 人を襲うことは少ないので、あわてず車を止めるか、徐行してから明るい側の窓を開けて、出て行くのを待つ。
- ④家の中 人を襲うことはあまり無いので、窓や戸を開けて、出て行くのを待つ。
ハチが天井へ舞い上がった時、窓が下にあると逃げられなくなる事があるので、その際は、家庭用エアゾールをハチから1~3m離れて噴射。
- ⑤洗濯物 戸外に干した洗濯物や布団にハチが紛れ込むことがあります。ハチが飛んでいる姿を良く見かける時は、取り込む前に点検して下さい。

※あくまで予防です! 上のことを守れば絶対に刺されないというわけではありませんのでご注意ください!!

◆アナフィラキシーって何??



ハチに刺されると15分ぐらいの内に、ショック様症状が出る人がいます。このような症状をアナフィラキシーといいます。

ヒトの体は異物に触れると、その異物を排除するために免疫システムが働き抗体を作ります。異物（抗原）と抗体は鍵と鍵穴のような関係で、前回異物として入ってきた抗原を覚えていて2回目以降に抗原が体内に入ると、抗体が働いてそれを排除しようとします。しかし、この反応が過剰に働くことがあり、それがアレルギー反応です。その中でも特に激越な反応がアナフィラキシーで、しばしば重篤な症状におちいり、対応を誤れば死に至ることもあります。



そのため、アレルギーを起こしやすい体質の人は原因物質と、2度目以降の接触がないように十分な予防策が必要になります！

また、このアナフィラキシー反応は虫刺されだけでなく、お薬や食品、その他のアレルギー物質でも起こりうるので、一度アレルギーの症状が出たものは避けるようにしましょう!!!



◆虫刺され、重症度別対処法!

軽症 刺された瞬間に、痛みを感じます。その後かゆみが出て2~3日で軽快します。ヒアリの場合は刺された時「熱い」と感じることもあり、10日ぐらいかゆみが続いた後に膿が出ます。

対処：流水や保冷剤で冷やし、抗ヒスタミン剤（虫刺され用の塗り薬）を塗りましょう。触ったり掻いたりしないようにしましょう。

中等症 数分から数十分後に患部が腫れ上がり、全身にかゆみを伴う蕁麻疹が出ることもあります。対処：病院を受診するとステロイド入りの軟膏や抗ヒスタミン剤の内服薬などが処方されます。

重症 数分以内に、呼吸困難、動悸、めまい、血圧低下、意識障害などが起きます。

対処：一刻を争いますので、とにかく急いで近くの病院へ連れて行ってください。

アナフィラキシーの治療は原則的には病院でしかできません。

アレルギー体質で「エピペン」を処方されている方は用法を守ってすぐに使ってください。

☆ヒアリって怖い!!



日本各地で「ヒアリ」が見つかっていますが、何に気を付けたらいいのでしょうか？

ヒアリは刺されると火傷(やけど)のように痛いところから「火蟻:ヒアリ」と名付けられました。日本にはもともといなかった種類ですが、中国・台湾には定着しています。中国や台湾に寄港した船に乗ってヒアリが運ばれ、日本の港でも発見されるようになりました。



ヒアリは攻撃性・毒性が強く、刺されるとアナフィラキシーショックをおこすこともあり、恐れられていますが「ハチのアレルギーと同じ!」と考えておくと分かりやすいでしょう。対処法もハチ刺されと同じです。

ヒアリの毒はアルカロイド毒の「ソレノプシン」のほか、ハチ毒の「ホスホリパーゼ」や「ヒアルロニダーゼ」も含まれるため一度ハチに刺されたことがある人は、ヒアリでもアナフィラキシーを起こしやすいので特に注意が必要です。

しかし、今はまだヒアリは港でしか見つからないので、畑仕事や庭でアリに刺されてもあわてず対処しましょう。



環境省ホームページ ストッフ・ザ・ヒアリ 引用

